

# 東京電力(株)福島第二原子力発電所事故に関する現地調査結果について

平成23年 8月10日

福島県原子力安全対策課

福島第二原子力発電所について、津波による浸水の被害とその後の対応状況を確認するため、県と楡葉町、富岡町は、事故後初めてとなる現地調査を実施しました。

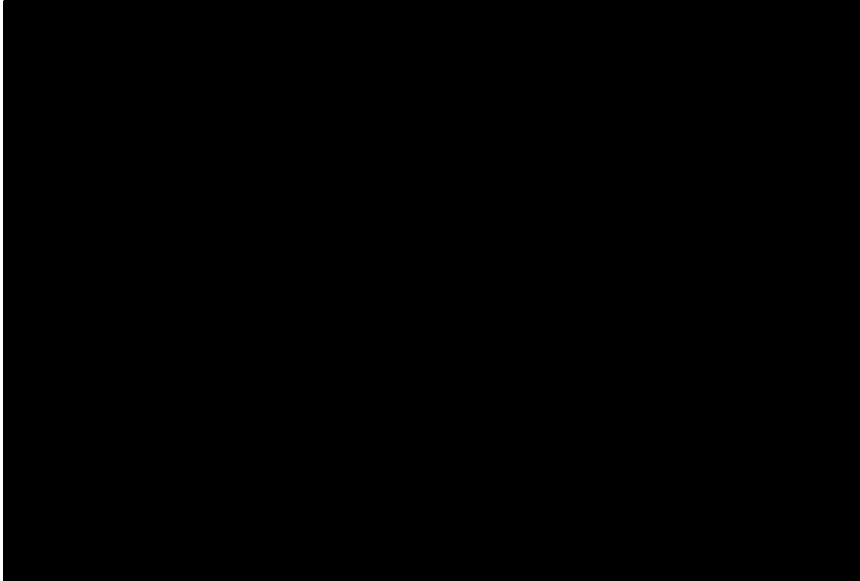
## 記

### 1 確認状況

- (1) 日 時 平成23年8月10日(木) 午後12時～午後5時
- (2) 場 所 福島第二原子力発電所
- (3) 確認者 福島県 古市生活環境部次長、小山原子力安全対策課長、他3名  
楡葉町 菅波企画課主査  
富岡町 緑川生活環境課長、他1名

### 2 確認結果

- 地震・津波による被害状況、緊急事態の対応、冷温停止の維持に関する対応について、設備等の現状について確認した。
  - ・発電所南側海岸アクセス道路の築堤（緊急安全対策実施状況）
  - ・1号機スクリーン設備、放水口放射線モニタ設備
  - ・1号機海水熱交換器建屋
  - ・2号機原子炉建屋（各冷却系ポンプ等、使用済燃料プール等）
  - ・1号機原子炉建屋付属棟（非常用ディーゼル発電機、電源盤、制御盤等）
  - ・モニタリングポストNo.7（敷地南側）
  - ・主排気筒
  - ・電源車、消防車、ホイールローダ等（緊急安全対策実施状況）
- 1～4号機では、冷温停止を確実に維持する設備として、号機毎に「原子炉冷却機能」と「原子炉冷却用の非常用電源」が多重化されていることを確認した。
  - ・原子炉冷却機能 = 残留熱除去系と代替除熱系として原子炉冷却材浄化系の稼働
  - ・非常用電源 = 2～4号機は、非常用ディーゼル発電機2台  
1号機は、発電機1台と2号機からの融通
- さらに、原子力安全・保安院からの4月21日の指示に基づき、津波による電源機能等喪失に備えた緊急安全対策として、高台への電源車の配置、注水冷却のための消防車の確保、築堤による建屋への浸水防止などの諸対策が講じられていることを確認した。



1号機非常用ディーゼル  
発電機給気ルーバー室  
(1号機原子炉建屋付属  
棟 屋外)



原子炉隔離時冷却系  
(2号機原子炉建屋地下  
2階)



使用済燃料プール  
(2号機原子炉建屋6階)



1号機非常用ディーゼル  
発電機給気ルーバー室  
(1号機原子炉建屋付属  
棟1階、建物内)



1号機非常用ディーゼル  
発電機  
(1号機原子炉建屋付属  
棟地下2階)



モニタリングポストNo.7  
の仮復旧  
(敷地南端)